



2019年3月26日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健 司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

当社子会社の(株)ジェネティックラボが
ノーステック財団【札幌市補助事業】「先端研究産業応用検証補助事業」の採択
および平成30年度「先端研究産業応用検証補助金」の受領に関するお知らせ

当社子会社の株式会社ジェネティックラボ(代表取締役社長:福永健司、北海道札幌市 以下、ジェネティックラボ)は、昨年に引き続き、平成31年度ノーステック財団【札幌市補助事業】「先端研究産業応用検証補助金」に採択されることが内定いたしましたので、お知らせいたします。

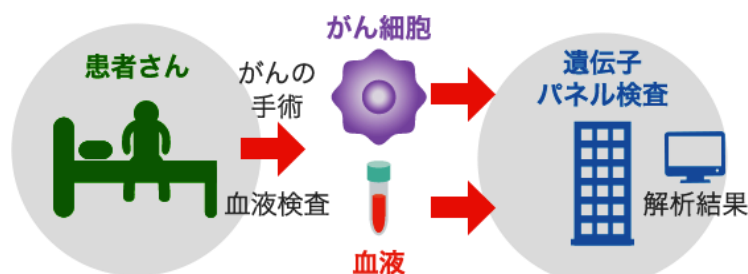
【概 要】

研究内容:「NGS 診断技術を応用した早期肺癌^{*1}ゲノム検査・研究連動型事業の構築」

補助金交付予定額:3,600千円

補助対象期間(予定):2019年4月1日から2020年3月6日まで

ジェネティックラボは、北海道大学病院 臨床研究開発センター 生体試料管理室(バイオバンク)およびゲノム・コンパニオン診断研究部門と連携し、手術時に採取された肺癌組織から次世代シーケンサー(NGS)^{*2}を用いたマルチプレックス体細胞遺伝子検査^{*3}と術後のデジタルPCR^{*4}を用いた血漿ctDNA^{*5}検査(リキッドバイオプシー^{*6})を組み合わせ、切除可能な肺癌患者のゲノムプロファイリングや術後再発モニタリングに基づくゲノム診療と研究を連動した仕組みを構築し、肺癌患者の今後の治療に役立てることを目指します。



なお、平成30年度採択された当補助金12,800千円に関しましても、精算が完了し、当初申請どおり今年度中(振込予定日:平成31年3月28日)に支給されることが決定いたしました。

◆ご参考 ※1 肺癌

肺癌は、気管支や肺胞の細胞が何らかの原因で癌化したものです。日本における患者数は14万人で、癌で死亡した患者数の部位別で一位です。肺癌は小細胞肺癌と非小細胞肺癌に大別され、病気の特徴や薬の効果が異なります。

※2 次世代シーケンサー (Next Generation Sequencer : NGS)

次世代シーケンサーは、ランダムに切断された数千万-数億のDNA断片の塩基配列を高速に読み取りゲノム情報を解読する装置です。

※3 マルチプレックス体細胞遺伝子検査

マルチプレックス体細胞遺伝子検査は、多重的で長大な遺伝子の中から欠失や重複を検出する検査です。

※4 デジタルPCR

デジタルPCRは、従来のリアルタイム定量PCRに代わって、核酸の絶対定量や希少対立遺伝子検出を高い精度で行うことができる装置です。

※5 ctDNA (血中循環腫瘍由来DNA)

ctDNAは、血液中にわずかに漏れ出した腫瘍由来のDNAです。

※6 リキッドバイオプシー

リキッドバイオプシーは、主に癌の領域で、従来の腫瘍組織を直接採取し検査する生検に代わり、血液や尿などの体液で診断や治療効果予測を行う技術です。

以上